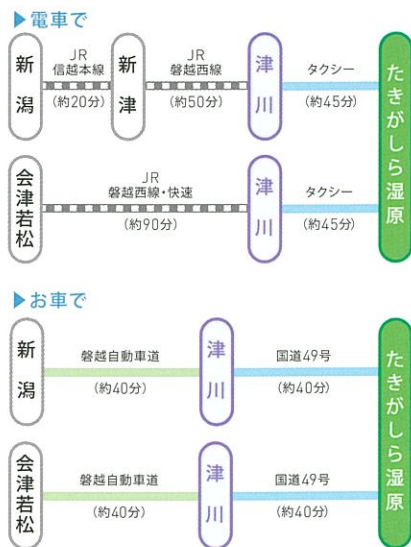


アクセス



周辺観光案内

ふれあいの森キャンプ場



優雅でオシャレな雰囲気のパングロー、自然と一体感を感じられるテント、宿泊スタイルは自由。森林浴を楽しみながらバーベキューをしたり、喧騒から逃れ伸び伸びした時間が過ごせます。

営業期間：4月～10月
主な施設：パングロー、キャンプ場など
お問い合わせ先：七福荘 (TEL.0254-95-3550)

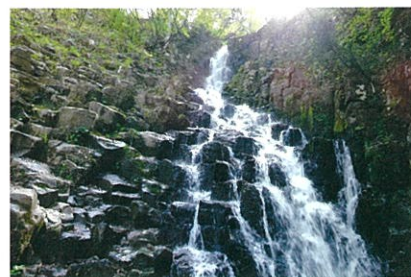
七福温泉 七福荘



東蒲材をふんだんに使った、木の香りがあふれる空間に心が安らぎます。泉質は単純硫黄冷鉱泉で疲労回復や健康増進に効果があると言われてます。施設内では、地元産のそばも堪能できます。

営業時間：施設 10:00～19:00
食堂 11:00～19:00
主な施設：浴場、大広間、食堂
定休日：毎週月曜日 (但し祝祭日の場合は休まず営業いたします)
所在地：〒959-4514
新潟県東蒲原郡阿賀町七名乙930番地
TEL.0254-95-3550 FAX.0254-95-3551

大尾不動滝



たきがしら湿原に続く林道の途中にあり、看板を目印に遊歩道を500mほど登るとたどり着きます。重なり合った岩の間を、しぶきを上げながら滑り落ちてくる大滝は、圧巻の一言です。

たきがしら湿原

〈開園期間〉4月下旬～11月末
〈ゲート開閉〉8:30～17:00

※ホテルの飛行期間は終日解放。

〈お問い合わせ先〉
阿賀町役場 農林商工課

〒959-4495 新潟県東蒲原郡阿賀町津川580番地
TEL.0254-92-5764

七名地区エリアガイド 検索



四季の湿原植物と生き物観察

たきがしら湿原

Takigashira Shitsugen

入園無料

数十種類以上の湿性植物と動鳥類などが生息する人工湿原。
阿賀町の澄んだ空気を吸いながら、自然散策を楽しんでみませんか？



かぞくみんなでお出かけよう！

たきがしら湿原の生き物

何種類の生き物を見つけられるか
挑戦してみよう♪

エゾイトトンボ

観察時期 5月～8月



体長約3～4cmの水色のイトトンボ。♂の腹部背面にスベード形の黒い模様があります。オゼイトトンボよりも早く羽化します。

トノサマガエル

観察時期 5月～11月



体長約5～10cmのアマガエル。5月の連休頃に集団繁殖行動(カエル合戦)が見られます。新潟県で絶滅危惧II類種。

ギフチョウ

観察時期 4月～5月



日本固有のチョウで「春の女神」とも呼ばれています。カモシカ歩道や園内でスミレ類やツツジ類などの花で吸蜜する姿が見られます。新潟県で準絶滅危惧種。

オオルリボシヤンマ

観察時期 6月～9月



体長約8～9cmの全身に鮮やかな斑紋(るり)色の斑紋がある大型のヤンマです。成虫は、水深のある開けた場所を好みます。

モリアオガエル

観察時期 5月～11月



体長約4～8cmのアオガエル。日本固有のカエルで、森林に生息します。6月下旬～7月上旬に、木の枝先やミズバショウの葉の間に産卵、卵塊が観察できます。新潟県で準絶滅危惧種。

モートンイトトンボ

観察時期 5月～8月



体長約3cmのイトトンボ。♂は未成熟なときは全身が淡いオレンジ色で、成熟すると胸が黄緑色に、腹部が鮮やかなオレンジ色になります。

ゲンジボタル

観察時期 6月～7月



6月中旬に成虫となって飛び始めます。19時～21時にかけて飛び行動が見られます。また6月下旬になるとヘイケボタルが成虫となって現れ始めます。

ハコネサンショウウオ

観察時期 5月～11月



体長約10～15cmの日本に棲んでいるサンショウウオで、唯一肺を持たないサンショウウオです。幼生は沢沿いの石の下などに隠れてすごしています。新潟県で準絶滅危惧種。

オゼイトトンボ

観察時期 5月～8月



体長約3～4cmの水色のイトトンボ。♂の腹部背面にウイングラスの黒い模様があります。

モノアラガイ

観察時期 一年中



体長約2cmの淡水に生息する貝。ヘイケボタルの餌になることで知られています。新潟県で準絶滅危惧種。

カジカガエル



トウホクサンショウウオ



ブナ林・カモシカ歩道 / MAP縮小図



観察MAP

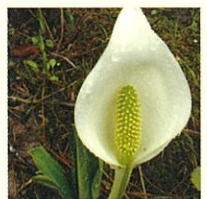
— 木道 — 遊歩道 —
 〈散策所要時間〉
 園内 ▶ 約15～20分
 カモシカ歩道 ▶ 約60分
 学習の森 ▶ 約60分

たきがしら湿原とは?

新潟と福島県境の標高約350m付近に位置しており、周辺の山にはブナやミズナラ、コナラ、スギなどの2次林が広がっています。昭和50年頃まであった滝首(たきがしら)集落の水田跡地に造成され、人工湿原として平成8年にオープンしました。在来の自然種を主体に、水性・湿生植物や野草など60種類ほどが約6haの人工湿原に植栽されています。また、野生動物やホタル、トンボなど水生昆虫の観察の場としても整備されており、これまでに両生類11種、貝類3種、トンボ類46種の生息が確認されています。

ミスバショウ - 水芭蕉 -

花期 4月～5月上旬



雪解けとともに開花し、園内一部では群生が見られます。4月下旬が見頃です。和名は水湿地に生え、大きな葉がバショウ(バショウ科)の葉に似ることによりです。

ザゼンソウ - 座禅草 -

花期 4月下旬～5月中旬



ミスバショウとほとんど同じ時期に開花し、園内2か所で見られます。和名は紅色の仏炎苞(ぶつぜんほう)に抱かれた花序(花の集まり)が座禅を組む僧侶をイメージさせることによりです。

イワウチクワ - 岩田属 -

花期 4月中旬～5月上旬



カモシカ歩道の尾根や斜面で群生しています。和名は岩場に生え、葉の形が団扇に似ることによりです。

リュウキンカ - 立金花 -

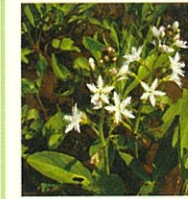
花期 4月下旬～6月上旬



園内全域で観察できます。和名は、茎が直立し、花が黄色(金色)であることによりです。

ミツガシワ - 三輪 -

花期 5月中旬～6月上旬



園内全域で観察でき、5月下旬の咲き始め頃が見頃です。和名は、3枚の小葉がカシの葉に似ることによりです。

ニッコウキスゲ - 日光黄菅 -

花期 5月下旬～6月下旬



園内全域で観察でき、例年6月10～15日頃が見頃です。和名は、本種が同属のキスゲ(ユウスゲの別名)に似て日光地方に多いことによりです。

ヒオウギアヤメ - 槍扇菖蒲 -

花期 5月下旬～6月下旬



園内全域で観察でき、例年6月10～15日頃が見頃です。和名は、花が同属のアヤメに似て、葉がヒオウギ(同科ヒオウギ属)に似ることによりです。

コウホネ - 河骨 -

花期 5月下旬～9月下旬



ここで観察できるコウホネは変種のアカバナコウホネで咲き始めは黄色の花ですが徐々に赤みを帯びてきます。和名は、川(河)に生え太くごつごつした白い地下茎が骨に似ることによりです。

シモツケソウ - 下野草 -

花期 6月中旬～7月上旬



園内で観察できるのはシモツケソウですが、たきがしら湿原付近では野生のコシジシモツケソウが見られます。和名は、木本のシモツケに似た草本の意味があります。

オオバギボウシ - 大葉擬宝珠 -

花期 6月中旬～7月下旬



園内で群生が見られます。山菜で言うウリイ・ウールイが本種です。和名には、蕾(つぼみ)の形が擬宝珠(ぎぼうし)に似ており、葉が大きいギボウシの意味があります。

コバギボウシ - 小葉擬宝珠 -

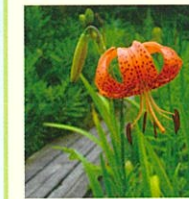
花期 7月上旬～8月上旬



園内全域で観察でき、園内一部では生息範囲を広げた野生のものが見られます。和名には、葉が小さいギボウシの意味があります。

コオニユリ - 小鬼百合 -

花期 7月中旬～8月上旬



園内全域で観察でき、7月下旬が見頃です。和名は、オニユリに似るが小形であることによりです。

たきがしら湿原の植物



ニッコウキスゲとコオニユリ
の花が、湿原一帯で咲く
季節がおすすめ!